

宮私幼だより

第154号 令和3年10月1日



巻頭言

理事長 鎌田文恵

2学期が始まり、この時期各園共に運動会、遠足やお遊戯会など大きな行事が目白押しとなります。しかし、このままコロナ禍が続けば、感染拡大防止のためにそれぞれの園が、創意工夫しながら規模を縮小したりして開催することになるのではないのでしょうか。

会員皆様のご心配な全日私幼連の使途不明金につきましては、肝心要のその理由が判然としません。今は司法に委ねられておりますので、一日も早く解明されることを願っております。

宮私幼は現在、私立幼稚園のみではなく、認定こども園、保育園も加入する団体となっており、子どもたちの幸せを願うという大きな共通目的のために、今後のあり方について若い先生方を中心とした特別委員会Ⅱ〈組織検討会〉を作り、様々な提言を受けているところです。

最近の大きな動きとして、宮私幼の研修会を仙私幼と一部合同で開催することにしました。経費節減と講師の先生方の効率化などメリットが大きいと考えております。

ここしばらく、幼稚園教諭・保育士の人材難が深刻ですが、養成校のご協力を得ながら、宮私幼としましても対応を検討しております。

今後とも、皆様のご意見とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和3年度宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【令和3年度第1回理事会】

日時 令和3年4月8日(木)午後2時～
場所 宮私幼会議室
議事の前に、村山十五顧問より、全日私幼連の使途不明金問題について報告があった。

議事

- (1)ふたば幼稚園から提出された退会届(令和3年3月31日退会)【承認】
- (2)みどりご園の入会申し込みについて【承認】
- (3)全日私幼連の会費支払いと宮私幼の会費について
- (4)6月25日(金)開催の令和3年度(第28回)全日本私立幼稚園連合会東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会<宮城大会>の進捗状況について(仙台ガーデンパレス&リモート)

- ①案内の最終確認 話題提供
- ②実行委員会
- ③リハーサル 仙台ガーデンパレス鳳凰の間 5月24日(月)15:00～
- ④要項の作成 委員会での役割を分担

報告事項

- ア. 4月22日(木)開催 特別委員会Ⅱ(組織検討会)の委員(メンバー)について
- イ. 施設関係者評価加算拡充に伴うECEQ実施園からの管理費の徴収について

その他

- a. 令和3年度の地区長及び地区会事務局の確認

【令和3年度第2回理事会】

日時 令和3年5月13日(木)午後2時～
場所 宮私幼会議室
議事

- (1)くりの木保育園の入会及び退職手当資金給付事業への加入申し込みについて【承認】
- (2)令和3年度第1回定時総会の議案について
第1号議案 令和2年度事業報告について
第2号議案 令和2年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
- (3)第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について
- (4)(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構からの報告について
- (5)令和3年度東北地区設置者・園長研修会<宮城大会>について

その他

- ア. 研究委員会より「経営者研修会のテーマ及び講師変更について」説明
- イ. 4月22日(木)開催 特別委員会Ⅱ(組織検討会)の報告について
- ウ. 処遇改善等加算Ⅱ 研修受講要件に関するお知らせ(幼児教育研究機構より)
- エ. 宮私幼HPの「幼稚園紹介」について
- オ. 令和3年度の地区運営費・研修費・実技講習会費の支給

【令和3年度第3回理事会】

日時 令和3年7月29日(木)午後2時～
場所 宮私幼会議室
議事

- (1)小規模保育園【認可・認可外】の取り扱いについて
- (2)地区別設置者・園長会議について
ア. 日程と出席者の確認
イ. 資料の確認(実態調査) 私学助成と認定こども園の違い
- (3)研究委員会からの報告について
○仙私幼との共催による教員研修会の提案に向けた取組について
- (4)4～7月迄の事業報告について(各委員会より)
ア. 教員不足による無料職業紹介所の設置について
イ. 第28回東北地区設置・園長研修会 会計報告

報告事項

- a. 東北地区会から報告 東北地区教研大会の主催者は、一般財団法人私学研修福祉会であったが、令和3年度より全日私幼連東北地区会とする。
- b. 公益財団法人全日私立幼稚園幼児教育研究機構は6月28日付で内閣府から認定され、一般財団に移行した。
- c. 一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構からの7月26日付の報告<公益目的保有財産の贈与の件>
- d. 教員免許状更新制度及び免許状更新講習の廃止報道について

事務局だより

令和3年度 上半期（4月～9月）

○関係機関団体

- 5/6 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター) [リモート]
- 5/12 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター) [リモート]
- 5/14 仙私幼総会(東京エレクトロンホール宮城) [ハイブリッド方式]
- 6/7 宮私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)
- 7/6 県新採研、県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/29 県新採研、県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/30 県次世代育成支援対策地域協議会及び県子ども・子育て会議(県行政庁舎)
- 8/4 教育課程宮城県研究協議会(宮私幼共催)(まほろばホール)
- 8/5 県新採研、県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/6 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/25 「学ぶ土台づくり」推進連絡会議(リモート)

○全日私幼連

- 6/25 東北地区設置者・園長研修会<宮城大会>(ハイブリッド方式)(仙台ガーデンパレス)
- 6/26 東北地区団体長会議、東北地区会(青森) [リモート]
- 6/30 団体長会・理事会合同会議(東京) [ハイブリッド方式]
- 7/9 定時総会(東京)
- 8/1 免許状更新講習<選択>(宮私幼協力実施)(フォレスト仙台)
- 8/7～8 免許状更新講習<必修・選択必修>(宮私幼協力実施)(フォレスト仙台)
- 8/20 幼児教育実践学会(東京) [リモート]
- 8/22 免許状更新講習<選択>(宮私幼協力実施)(フォレスト仙台)
- 8/27 東北地区会教育研究担当者連絡協議会(青森) [リモート]
- 9/28 102条園研究会議(東京) [リモート]

○宮私幼のあゆみ

- 4/6 新任教員研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド方式)(東京エレクトロンホール宮城)
- 4/8 理事会
- 4/15 総務・給付委員会、研究委員会 [リモート]
- 4/22 特別委員会Ⅱ(組織検討会)
- 5/10 常任理事会と総務・給付委員会合同会議
- 5/11 監査会
- 5/13 理事会
- 5/18 総務・給付委員会、東北地区設置者・園長研修会<宮城大会>打合せ
- 5/26 研究委員会(仙私幼合同)(仙私幼会議室)
- 5/27 定時総会(仙台市民会館)
- 6/1 総務・給付委員会、教育研究発表大会分科会発表園打合せ(ハイブリッド方式)
- 6/3 特別委員会Ⅱ(組織検討会)
- 6/4 経営委員会
- 6/8 研究委員会
- 6/9 研究委員会
- 6/10 総務・給付委員会
- 6/14 東北地区設置者・園長研修会<宮城大会>打合せ
- 6/16 研究委員会(仙私幼合同)(仙私幼会議室)
- 6/17 研究委員会、地区研修担当者連絡会(ハイブリッド方式)(仙台市民会館)
- 6/24 東北地区設置者・園長研修会<宮城大会>打合せ
- 6/29 経営委員会
- 7/5 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)
- 7/8 総務・給付委員会
- 7/15 研究委員会
- 7/27 保育者資質向上研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド方式)(仙台市民会館)
- 7/28 経営委員会
- 7/29 理事会
- 7/30 新任教員研修会(仙私幼共催) [ハイブリッド方式] (仙台市民会館)
- 8/3 保育者資質向上研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド方式)(東京エレクトロンホール宮城)
- 8/4 組織経営研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド方式)(東京エレクトロンホール宮城)
- 8/5 経営者研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド方式)(東京エレクトロンホール宮城)
- 8/10 仙台地区設置者・園長会議(太白区文化センター)
- 8/12 総務・給付委員会
- 8/20 石巻地区設置者・園長会議(石巻市:ひばり幼稚園)
- 8/23 気仙沼・登米地区&大崎地区(合同)設置者・園長会議(栗原市:エポカ21)
- 8/24 名取・岩沼地区&仙南地区(合同)設置者・園長会議(岩沼市:岩沼南こぼと幼稚園)
- 8/25 塩釜地区設置者・園長会議(多賀城市:ホテルキャッスルプラザ多賀城)
- 9/9 総務・給付委員会、研究委員会(仙私幼合同) [リモート]
- 9/16 研究委員会

○慶弔

- 4/29 風間 文静 氏(認定こども園ひかり幼稚園 理事長・園長) 春の叙勲(瑞宝双光章) 受賞
- 5/14 奥田 美由紀 氏(認定こども園折立幼稚園・ナーサリールーム 園長) 逝去
- 7/26 風間 文静 氏(認定こども園ひかり幼稚園 理事長・園長) 逝去

令和3年度 宮私幼第1回総会

日時：令和3年5月27日(木) 会場：仙台市民会館「地下展示室」

根来興宣副理事長が「コロナ禍の中で令和3年度もスタートしたところですが、願うところは、子どもたちの安全を確保しながら教育、保育を充実させていく、必要な経験を獲得していくというところに、揺るぎない努力と決意を持って尽力していきたい」と力強く開会の挨拶をいただき、続いて鎌田文恵理事長は挨拶の中で「仙私幼と宮私幼が研修を一緒にやっていくという方向性になりました。仙私幼会長を経験してきた私からみれば、重複していることが多いというのが要因ですが、園児の減少も続いている中で、経費節減ということも一緒に考えていかなくてはならないと思うからです。大変なことは分かっておりますけれども、先生方のご理解を頂戴したいと存じます」と述べられました。

議長として白梅幼稚園理事長高橋潤先生、エコールノワール幼稚園園長佐々木拓真先生を選任し、181会員



中、会場出席者60名、委任状提出者97名との事務局報告により総会が成立し、議事に入りました。第1号議案令和2年度事業報告について、第2号議案令和

2年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について、が提案され審議、承認されました。報告事項として村山十五顧問より全日私幼連の使途不明金について説明がありました。

最後に、庄司昭博副理事長が閉会の言葉として「全日私幼連については、大変残念なことがあったが、宮私幼の方ではしっかり見極めて、皆様方にしっかり説明をしていけるようにと考えております。今、世の中は働き方を含めて様々な変革の時代を迎えております。私共も課題意識を持ちながら、皆様の利益となる会の運営を目指していきたいと思っております」と述べて総会を締めくくりました。(片岡大助)

養成校との懇談会

日時：令和3年7月5日(月) 13:30~15:00
会場：仙台ガーデンパレス4階「羽衣の間」

挨拶

宮私幼鎌田文恵理事長

養成校と幼稚園において、実習の受け入れや新人の確保が厳しい状況であるために、養成校の先生方に幼稚園をより良く知ってもらい、アドバイスをいただき人材確保につなげられるように協力していただきたい。また、働きたい人が連合会に履歴書を持参して登録し、加盟している園を紹介するなど整えている最中で、宮私幼で様々なことを行っていることを学生に伝えていただきたい。

東北福祉大学利根川智子准教授

コロナの影響によりカリキュラムも変わりましたが、実習の調整や訪問の対応をいただいたおかげで無事に学生たちが大きな学びを頂き、感謝いたします。また、就職活動、見学にもご協力ありがとうございます。実習、就職と本日の懇談会で情報交換をしていただき、学生たちに伝えていきたい。

養成校側の自己紹介と主な内容

- 幼稚園に就職するのは全体の養成校でも4割から5割ぐらいで、6割ぐらいが保育所の希望する学生が多い。
- 実習の経験から幼稚園を希望する学生がおり、実習後に就職の声がもらえてうれしいとの声がある。

- オンラインで研究会を開き、保育の学びや就職活動の指導を行うとともに、長く勤められるように学びの機会を増やしている。
- 地元で活躍させたいが、学生の希望で都会(特に関東)に行ってしまう。
- 仕事量が多い、サービス残業となる職種(保育に限らず、看護や介護も)が減っているように見受けられる。
- 行事の関係等にて実習を受け入れてもらえない。また、実習が1つの園に集中してしまい、サポートが必要な学生もいる。

現況について情報交換の主な議題

- 勤務期間が3~4年で退職してしまう場合が多く、養成校でも長く勤務できるように指導をお願いできないか。また、幼稚園も働き方なども変わってきていることを伝えていただきたい。
- 派遣会社と養成校の関わりはあるのか。また情報などを教えてもらいたい。
- 求人について学生はどのように情報を得ているのか。
- 幼稚園を知ってもらうために学生に出前授業として連合会から派遣できるので検討ください。
- 文科省より、卒園児を実習させない通知があったが、養成校としては、どのように考えるか。

養成校より

- 派遣会社との関係や繋がりはない。求人票を元に学生は就職活動を行っている。
- 求人票が届き次第、掲示などで学生が見られるようになっている。また、メールでも新しく求人票が届いた際には知らせている。
- 派遣会社からの確保の場合、早期の退職が多く紹介料が掛かる。
- 実習前に現場の先生から幼稚園の勤務内容について話をいただいたことがあるので、学生にとっても良いと感じる。
- 卒園先での実習がだめというわけではないが、実習先の確保が優先されている。
- 実習先は、自分の人生設計に合わせた可能性が広がることも考えられるので、限定はしていない。



その他

- 今後、宮私幼と養成校の情報交換だけではなく、少子化といった社会の変革に向かってできることや10~20年後の子どものためにも共に協力をしていきたい。
- 現場の先生たちにも日々の業務で学ぶ機会が少なくなってきた。経験者も学ぶことが大切だと感じているので、研究や研修を共に行えるよう協力いただきたい。

閉会

末屋保広経営委員長

各園でも業務負担を減らして、働きやすくなってきている。学生には幼稚園、保育園といった垣根よりもどこの職場で働きたいか、長く働ける職場作りを目指している。そのような中で選ばれる職場作りも行っているため、こうした動きを学生にも伝えてほしい。

(経営委員会:抜粋)

令和3年度(第28回) 全日本私立幼稚園連合会 東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会<宮城大会>

テーマ:「明日の幼児教育を考える」

日時: 令和3年6月25日(金) 会場: 仙台ガーデンパレス 2階「鳳凰の間」

開会行事

庄司昭博副理事長の開会の言葉に続き、鎌田文惠理事長の「会場とリモートでの開催は初めての試みだが、高度成長の中で大きく変わりつつある教育を皆で考えたい」との挨拶で開会しました。

記念講演「大切な家族の絆」

講師: バイマーヤンジン氏 (声楽家、チベット出身)

色鮮やかな民族衣装で登場したヤンジン氏が、「私はこういう顔をしています」と茶目っ気たっぷりに横顔まで披露すると、会場の雰囲気や和らぎました。(以下要旨)

チベット人の多くは、冬マイナス20度にもなる平均標高4200メートルの高地に住んでいます。遊牧民は生きていくのが精いっぱい、学校に行ける人が少なく、親世代は字が読めません。私の家は貧しかったけれど、両親と兄が苦勞して私を学校に行かせてくれました。私の大学進学は村で初めてのことで、村中が喜び、いろいろな面で応援してくれました。大学ではチベット人ということだけで差別され、心が傷つきましたが、ここで退学したら両親が悲しむ、勉強では絶対に負けたくないと頑張りました。そして、運命の日。卒業コンサート後、「チベットは素晴らしい所ですね!」とおっしゃってくださる人がいて、その言葉に、暗闇の中に一筋の光が差したように心が癒され、自信もみなぎってきました。言葉の力です。その言葉の主が今の夫、当時は四川大学の留学生でした。結婚を機に日本に来ると、日本は天国、そ



の発展ぶりと豊かさに感激しました。暮らしているうちに、日本とチベットとの違いは教育にあると悟り、どうしたらチベットを変えることができるのか、故郷に何か貢献したいという思いが募

り、やはりチベットの子どもたちに教育を受けさせたい、学校を作ろうと決めました。パート勤務の賃金を貯め、現地の方も労働奉仕して下さり、1校目の学校ができました。その後支援の輪が広がり、小学校9校、中学校1校を建てることができました。プライベートでは、来日してから12年目に待望の子どもを授かりました。出産入院していた時、看護師さんに言われた「産んだだけでは母親になれない」という言葉に衝撃を受け、我が子を育てながら、私も母親として一生懸命多くのことを学んでいます。子どもは、日本の将来を背負うので、愛情いっぱい育てていきたい、たくさんの方々に支えていただいている感謝していますと結ばれ、チベット民謡「太陽と月」、アンコールには「故郷」を歌っていただきました。情感あふれる歌声は、草原を思わせるようでした。小野寺靖子研究委員長が「教育の目指すところは何なのか。今日の話をお聴き、教育に対しての情熱がわいてきました」とお礼の言葉を述べました。

パネルディスカッション 「コロナ禍における対応と今後の展望」

助言者

坂本 洋氏 (一般社団法人 岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会会長)

パネラー

菊池 正隆氏 (認定こども園 泉の杜幼稚園園長)

片岡 大助氏 (認定こども園 さくら幼稚園園長)

コーディネーター

吉岡 弘宗氏 (宮私幼 常任理事)

(要旨)

片岡氏：5施設を運営しているが、令和2年12月に保育所職員2名の新型コロナウイルス感染が確認されてからの対応を時系列で追ってみました。その中から見えてきたことは、情報開示の大切さでした。飛びかう情報の中で、保護者には正しく細やかな情報を発信することを心がけました。危機管理の要諦は、“全職員の気づきと報告、そして何より管理者の素早い対応と情報に尽きる”と言われますが、その通りだと今回の件を通じて痛感しました。

菊池氏：(本園の経過報告) 令和3年3月21日施設内で園児の新型コロナウイルス感染(家族感染)が確認され、当局の指導により、園児47人、保育者4人がPCR検査を実施しました。3月22日～27日まで臨時休園措置を取りました。3月27日全員の陰性が確認され、3月29日から再開しました。

(役所からの関連通知) 令和2年4月13日仙台市から家庭での保育要請がありました。一方で保育が必要な方は引き続き保育施設等利用可能としています。4月23日事業者に対し在宅勤務や自宅待機等ができるよう配慮要請がありました。令和2年6月16日厚労省Q&A保育所等は学校とは異なり、保護者や子どもの状態により、原則として引き続き開所していただくこととしています。

(私見) 小さい子どもが安心して過ごせる場所が幼稚園、保育所、こども園等であり、困難な状況においても、その保護者が社会で活躍できるよう支えるのも私たちであると痛感させられました。

吉岡氏：1号、2号、3号児の差はどうですか？

片岡氏：1号児(従来の幼稚園)は、休園や学級閉鎖が行えたが、2・3号児(認定こども園)は思い通りにならないジレンマがありました。保護者は協力的でした。

菊池氏：認定区分に関係なく感染者が出た場合は、家庭環境や保護者の就労、外出の制約等、外的要素の影響が大きいと思います。



吉岡氏：職員への指導はどのようにされましたか？

片岡氏：ありのままを伝えて協力して欲しいと話しました。

菊池氏：縦割り行政により、厚生労働省、仙台市からの通知により周知しています。

坂本氏：クラスターにならなかった事例を話していただきました。盛岡市内の幼稚園ではPCR検査を実施しています。

4つの留意点(課題)：①感染源を絶つ(施設ではできない)、②感染経路を絶つ(三密を避ける。状況・情報の正確な入手、保護者へ伝える方法の確立、クラスターを防ぐ)、③子どもの抵抗力を高める(日頃の健康管理)、④事後体制(発症して休んだ後に登園した時の対応)：誹謗中傷にならぬよう、十分な配慮をする。

当園のマニュアルは、文科省と厚労省を鑑みて作成しましたが、1～3号児の対応に矛盾を感じています。

菊池氏：「コロナって何だろう？」と予備知識もなく不安でしたが、国や自治体からのQ&A等をまとめるとマニュアルとして活用できます。職員用としてダイジェスト版を作成しました。

片岡氏：保護者からの問い合わせや苦情は、一本化して園長の携帯電話に24時間受け付けにしました。

吉岡氏：各地域、各園で課題がありますが、ワクチンに期待する他は園に持ち帰り、備えたマニュアルについて話し合いましょう。

閉会行事

鎌田理事長が「明日への教育、幼稚園運営に役立てていただければ実りのあるものとなります。初めてのリモート研修会で、どのように伝わったか。不行き届きはお許しください」と閉会の挨拶を述べ、最後に、次期開催県(岩手県)坂本氏が、「このたびのハイブリッド研修で成果を上げることができ、感謝申し上げます。来年は、多分コロナが収束して、対面200名程度の研修会とすることを明日の役員会で提案します」と宣言され、研修会を終了しました。(小川せつ子)

幼稚園訪問記

幼な子とともに

宗教学人 雲山寺 はなぶさ幼稚園

〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴 1 丁目 9-20
園児数29名 教職員 5名
(満3歳児1名、3歳児8名、4歳児6名、5歳児14名) 令和3年7月1日時点

はなぶさ幼稚園を訪問しました!!

令和3年7月9日(金)に宗教学人 雲山寺 はなぶさ幼稚園を訪問しました。梅雨時期のため、雨が降りしきる中で訪問となりましたが、高台にある緑豊かな環境にたえず園舎からは元気な園児たちの歌声が聞こえてきました。雲山寺の住職も兼任されている菅野貫順 代表役員・園長先生(写真)が園内を案内して下さいました。



1. 概要

経営母体の雲山寺は、昭和17年建立の新しい寺院で、地元根付くための社会事業として、はなぶさ幼稚園を開園(昭和39年4月認可)し、今年で57年目になります。令和2年4月から新制度の施設型給付幼稚園に移行しました。

2. 特色

仏教主義教育に基づいて各教室・ホール・園庭に仏様(ののさま)を安置し、手を合わせ感謝する心を養うことを目指して保育を行っています。更に「話を聞く」ことに重点を置き、落ち着いた生活を目指しています。小規模園なので教職員や園児、保護者がそれぞれの顔と名前が分かるアットホームな雰囲気を大切にしています。



3. 教育・保育目標

- 明るく、つよく、たくましい子ども
- 思いやりのあるやさしい子ども
- すべての命を大切に子ども

4. 特に力を入れている教育

- 毎週火曜日は、男性講師による体操教室に全園児が参加して、心身の調和を図り、丈夫な体作りを行なっています。
- 年長組園児と年中組園児はマリンバ奏者の音楽講師による指導で、様々な楽器に触れ、様々な音楽に親しんでいます。



[編集者注:園長先生もマリンバを演奏し、マリンバも一流メーカーのものが3台揃っており、園内での演奏会もできるとのことです。]

- 高校美術講師の絵画指導により、絵画から陶芸まで幅広く制作活動を行っています。(年中・年長児)

5. 給食

月・火・木・金曜日は弁当持参 牛乳は毎日飲用
毎週水曜日は外部搬入業者による給食
(2学期からは金曜日も) *アレルギー対応あり

6. 保育時間と預かり保育

月曜日～金曜日 9:00～14:00
預かり保育 月曜日～金曜日 13:30～17:30
土曜日 8:00～17:30

7. バス送迎

バス送迎を希望する園児のみ利用しています。
幼児専用マイクロバス1台。

8. 未就園児教室

未就園教室としては行なっておりませんが、毎週木曜日の10:00～12:00まで園開放をしており、園内外を自由に使いながら、年少児とふれあいの時間を設けています。

9. 新型コロナウイルスへの対応

- 手洗い・うがい・手指消毒・園内の消毒、換気とバス車内のマスク着用、換気消毒・毎朝の検温等を励行しています。
- 各教室やホールへ空気清浄機・加湿器を設置。教職員の常時マスク着用。
- 行事に関しては、保護者の人数制限や時間短縮等、感染予防対策を講じながら、子どもたちが楽しみにしているイベントを極力行えるように進めています。
- 教職員や保護者のワクチン接種等、今後の状況を慎重に見極めながら、安心して保育を行えるよう、各家庭とも協力して運営していきます。



訪問後記

東日本大震災で被害を受けた旧園舎の新築を、一級建築士となった卒園生に設計してもらったと丁寧に案内していただきました。風が吹き抜け、光が十分取り込めるようにとのコンセプトが満ち溢れるホールや各保育室でした。テラスに出ると、「この場所から新幹線の走行の様子を見ることができるとですよ。熱心に観察する園児もいるんですよ。」との話を伺い、きっと設計の段階から子どもたちの目線も大事に考えていたのだろうな、と感心させられました。(片岡大助)